鹿嶋神社の秋

七五三詣　男の子が３歳・５歳　女の子が３歳・７歳のお祝いです

七五三は一般に３才は男女児、５才は男児、７才は女児のお祝いとされています。
３才を「髪置（かみおき）」・５才を「袴着（はかまぎ）」・７才を「帯解（おびとき）」と言い、いずれも乳幼児期から子供への成長を感謝し、さらに健やかで美しく聡明に育つようにと氏神さま（鹿嶋神社）に参詣し、お願いする行事です。七五三と言えば11月15日ですが、鹿嶋神社では10月から七五三の祈祷（お祓い）ができます。

【祝い年】七五三詣は、数え年でも満年齢でもできます。

三歳	男・女の子：	令和	６年生（数え年）	又は 令和	５年生（満年齢）
五歳	男の子：	令和	４年生（数え年）	又は 令和	３年生（満年齢）
七歳	女の子：	令和	２年生（数え年）	又は 令和	元年生（満年齢）



七五三のご祈祷を受けた方に

お神札・お守り(1体)・千歳飴(5本入り)・守護矢
「日本の神話」の小冊子・折り紙
特製「ディズニーぬりえ」を授与します。



【厄祓い・延寿祭のご案内】

今年まだ厄祓いを受けていないお父さんお母さんは、お子様の七五三のお祓いと一緒に、厄祓いの祈祷もできます。また、還暦などの年祝いのお祓いを受けていないおじいちゃんおばあちゃんも、お孫さんの七五三と一緒に、延寿祭の祈祷もできます。受付にてお申込みください。

令和８年 厄年早見表 ※年齢は数え年	
男	女
41歳（昭和61年生）	32歳（平成7年生）
42歳（昭和60年生）	33歳（平成6年生）
43歳（昭和59年生）	34歳（平成5年生）
25歳（平成14年生）	37歳（平成2年生）

令和８年 延寿祭早見表 ※年齢は数え年	
還　暦（かんれき）	61歳（昭和41年生）
古　希（こ　き）	70歳（昭和32年生）
喜　寿（きじゅ）	77歳（昭和25年生）
傘　寿（さんじゅ）	80歳（昭和22年生）



【お酒のご奉納について】

七五三のご祈祷（お祓い）の折、お酒を奉納し家内安全や無病 息災を祈りましょう。奉納されたお酒は、神前にお供えし神さまにご奉告します。奉納された方には記念品を授与します。
※お酒の奉納は、１升もしくは２升で、「箱入り・のし紙付き」でお願いします。

R801011

～みなさまからのご質問に答えて～

Q：七五三にはどうして氏神さまにお参りするのですか？
A：氏神さま（鹿嶋神社）は私たちの住んでいる地域をお守りくださっている神さまだからです。家族一人一人をいつも守って下さっている氏神さまに感謝申し上げ、これからのお子様の健康な成長とご加護をお願いするためです。

Q：数え歳（かぞえどし）について教えて下さい。
A：満年齢は、生まれた時を０歳として、誕生日が来ると１つ年をとります。しかし、数え年は、生まれた時を１歳として、お正月が来ると１つ年をとります。これは、「お母さんのおなかの中で十月十日（とつきとうか）、約一年間はぐくまれ誕生した」と考え、昔の日本では生れてきた赤ちゃんを数え１歳と数えたわけです。

月次祭（つきなみさい）参列のお勧め

「月次祭（つきなみさい）」とは、毎月１日に皆様（氏子・崇敬者）の家内安全（繁栄と平安）、国家の隆昌をお祈りするおまつりです。
毎月の月次祭には、どなたでも神社にお上がりのうえお祓いが受けられます。時間は５月から９月は午前６時（冬季の10月から４月までは午前６時30分）からですので、お勤めの方もご参列いただけると思います。
月の初めの日の早朝、氏神様にお参りして今月の無事を祈り、すがすがしいお気持ちで日々を過ごしていただくために、ぜひご参列をお勧めします。

月次祭日時／５月～９月の(1日)は、午前６時
10月～４月の(1日)は、午前６時30分
御初穂／500円
この月次祭に参列された方には、
「色帛束（いろへいそく）」毎月１本、12ヵ月色が違います。
「お米（撤饌（てっせん）：神さまからお下げしたお米です）」小袋
「お神酒」１本 を授与します。



【七五三祈祷の期間と祈祷時間】
10月４日(日)～11月29日(日)の
午前９時～午後４時
（午後３時30分祈祷受付終了）
※11月の土・日・祝日のご祈祷は予約不要です。
（平日及び10月のご祈祷は事前予約をお願いします。）
※11/23のご祈祷は、新穀感謝祭の祭典のため、祈祷殿で行います。
※お守りお札の授与時間は、祈祷時間内です。

【お初穂（はつほ）について】
七五三詣のご祈願は、お一人5,000円です。
初宮詣・交通安全・厄祓いなど、
個人のご祈願は、１祈願5,000円です。

白河地方の総氏神様
鹿嶋神社
TEL（0248）23-3079
http://www.kashimajinja.jp

出張祭典のご案内

解体清祓・地鎮祭・新宅祭・井戸埋めなど、神職がお伺いしてご要望に応じた祭典を行ないます。住宅建築は、ご家族にとって一生に一度の大きな事業です。土地や建物を祓い清める儀式（お祓い）は、その事業の無事成功や未永い家族の幸せを祈願するものです。

解体清祓（かいたいきよはらい）：古くなった建物を壊すにあたって行われるお祓いが「解体清祓」です。建物を祓い清め、家屋の守り神に対して長年にわたり、何事もなく無事に過ごさせていただいた感謝の気持ちを表すとともに、解体工事がすみやかに無事終了するように祈願します。

地鎮祭（じちんさい）：地鎮祭は、建物の新築に際して、その土地の神さまをお呼びして土地を祓い清め、工事の開始をご奉告し、工事の安全と建物の無事完成を祈願する大切なお祭です。※工務店は砂を準備。

新宅祭（しんたくさい）：新宅祭は、完成した建物を祓い清め、工事が無事に終わり、立派に完成したことを神さまに奉告し、家庭の安全を祈ります。また、この際に神棚を設けてこれから末永く家庭をお守りいただくように神さまをお祭りすることが大切です。

【出張祭典の御初穂（祈祷料）】※祭壇一式（お供え物を含む）などお祓いに必要なものは神社で持参します。初穂料：個人 30,000 円より申し受けます。

パワースポット！

～あなたも触れて感じてみませんか～

磐座（いわくら）：神社のご神体山（甕の森：みかのもり）には、古代からの祭祀が行われ聖地と云われる大岩があります。

ご神木（ごしんぼく）：本殿西側に樹齢 1,000 年と云われている杉の大木があります。古来、岩や樹木には神霊が宿ると云われています。



磐座（いわくら）



ご神木

～鹿嶋七福神 ＋２堂まいりをしてみましょう!!～

これは、鹿嶋神社を含めて神社境内にある７つのお社と神仏習合時代の名残をとどめる２堂をまわってお参りしていただくものです。それぞれのお社やお堂には、「七福神 ＋２堂まいり」の看板があり、ご祭神やご利益・御神徳などが記してありますので、ご覧のうえお参りください。

【方位よけ（八方よけ・鬼門よけ・病 門よけ）】

方位よけとは、年まわりが悪く「やることなすことうまくいかない」と言われているもので、方位よけのお祓いにより、その一切の災厄とさわりを取り除くものです。

☆祈祷を受けた方に、お神札・お守り・方位よけ守護矢・お神酒・を授与します。

方位よけ早見表　※年齢は数え年、男女共通

八方よけ（はっぽうよけ）		鬼門よけ（きもんよけ）		病門よけ（びょうもんよけ）	
73 歳（昭和 29 年生）	37 歳（平成 2 年生）	76 歳（昭和 26 年生）	40 歳（昭和 62 年生）	79 歳（昭和 23 年生）	43 歳（昭和 59 年生）
64 歳（昭和 38 年生）	28 歳（平成 11 年生）	67 歳（昭和 35 年生）	31 歳（平成 8 年生）	70 歳（昭和 32 年生）	34 歳（平成 5 年生）
55 歳（昭和 47 年生）	19 歳（平成 20 年生）	58 歳（昭和 44 年生）	22 歳（平成 17 年生）	61 歳（昭和 41 年生）	25 歳（平成 14 年生）
46 歳（昭和 56 年生）	10 歳（平成 29 年生）	49 歳（昭和 53 年生）	13 歳（平成 26 年生）	52 歳（昭和 50 年生）	16 歳（平成 23 年生）

祈祷のご案内

【祈祷受付時間】午前 9 時～午後 3 時 30 分

【御初穂（祈祷料）】ご祈願は、１祈願 5,000 円です。

◎交通安全祈願（こうつうあんぜんきがん）

～新車・中古車を購入した時にお祓いを受けます～

交通事故は、ちょっとした不注意や心のゆるみから発生するものです。お祓いにより、車を清めて神さまのご加護をいただきます。新車や中古車を購入した折に、交通安全祈願を行い、無事故を祈りましょう。

☆祈祷を受けた方に、お神札・お守り・お神酒・ステッカー・本革製キーホルダーを授与します。

◎初宮詣（はつみやもうで）

～生後 30 日前後にお祓いを受けます～

初宮詣は、赤ちゃんが授かったことへのお礼とお子様のすこやかな成長とを祈り、お子様を氏神さま（地域をお守りくださる神さま）にお目にかけ、一人の人間として認めていただく行事です。参拝日は生後 30 日前後といわれていますが、赤ちゃんの健康や母親の産後の回復を見てご参拝ください。

☆祈祷を受けた方にお神札・お守り・お喰初め食器セット・歯固めの石を授与します。

◎安産祈願（あんざんきがん）

～妊娠５ヶ月目の都合のよい日にお祓いを受けます～

お母さんのおなかの中に赤ちゃんが宿ると、五ヶ月目の戌の日に『帯祝い』が行われます。戌の日を選ぶのは、犬が安産であることにあやかるものです。平安無事に赤ちゃんが誕生するように祈りしましょう。安産祈願の御祈祷（お祓い）は、戌の日に『帯祝い』が出来るように、戌の日の前のご都合のいい日にお祓いを受けてください。

☆祈祷を受けた方にお神札・お守り・腹帯・お神酒を授与します。

◎健康・身上安全祈願（けんこう　みのうえあんぜんきがん）

～あなたの健康と身上の安全をお祈りいたします～

健康が一番だと分かっていても、体に負担をかけ無理をすることも度々だと思います。健康と身上の安全をお祈りし、神さまのご加護をいただきましょう。

☆祈祷を受けた方にお神札・お守り・お神酒・守護鉾を授与します。

◎清祓い（きよはらい）

～身に付いた一切のけがれをお祓いいたします～

「最近どうも良くない事が続く」とか、「気持ちがどうもすっきりしない」などと感じる方、また「最近、病気がちで･･･」「ケガが多くて･･･」など、大きな病気やケガではないけれど、どうも調子が良くないと感じる方がいます。神道ではこのような状態を「けがれ」といいます。清祓いとは、この「けがれ」をお祓いにより取り除き清らかな普通の生活に戻るための祈祷のことです。

☆祈祷を受けた方にお神札・お守り・開運鉾・お神酒を授与します。

《同級会での厄払い、還暦などの団体祈祷のお勧め》

鹿嶋神社では、来年のお正月の同級会での団体祈祷の申込みを受付けています。お申込みは、日時とだいたいの参列人数が分かれば結構です。お早めにお申込み下さい。お正月に同級会を開こうとお考えの方、多くの友人とともにお祓を受け、無病息災と幸せを祈りましょう。

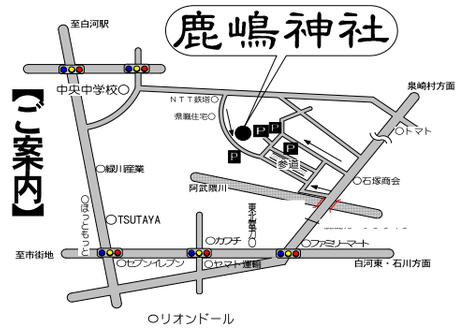
来年の厄年、還暦の方は

〇厄祓い／男 42 歳（昭和 61 年生）
　　女 33 歳（平成 7 年生）
〇還　暦／男女 61 歳（昭和 42 年生）

※年齢は数え歳

※団体は、10 名以上の申込より受けます。





白河提灯まつり（鹿嶋神社例祭・渡御祭）の御礼

最終日の神社でのお手打ちには、参加者が心一つになった喜びに、拍手と呼び子の音が鳴り響きました。

今回初めての試みとしての白河提灯まつり実行委員会の発案による、最終日の行列の出発地を小峰城に改め、多くの観光客の皆さんに行列の全貌をご覧いただける様になり、おいでになった方々からは、この祭りの規模の大きさや迫力がよくわかったとか、雨の中でも整然とした行列はすばらしいなどの感想をいただきました。

３日間、雨の中でのお祭りとなり、氏子崇敬者の皆様には大変な努力と苦労をおかけしました。

山車や屋台での笛や太鼓の演奏、また、力いっぱい山車や屋台を引っぱる子供たちも雨の中で大変だったと思います。

また、警備に当たってくださった、警察署や警備会社、それにシルバー人材センターのみなさん、参加者を支えてくださった各町の皆さん、そして、いろいろ準備に走りまわって祭りを良くしようと努力を重ねてくださった実行委員会の皆さんに厚くお礼申し上げます。